

## 建設技術展等の開催報告

# 「建設技術フェア2016in中部」の 開催結果報告

事務局：国土交通省 中部地方整備局 企画部 施工企画課

### 1. はじめに

平成28年10月20日（木）、21日（金）の両日、愛知県名古屋市の吹上ホール（名古屋市中小技術振興会館）において、「建設技術フェア2016in中部」を開催しました。

「“守る”安全な暮らしを支える建設ICTやロボット技術」、「“創る”未来を支える建設技術」を開催テーマに、245の新技术・新工法の展示をはじめ、i-Constructionをテーマとした講演会、学生交流ひろば等の企画を催しました。

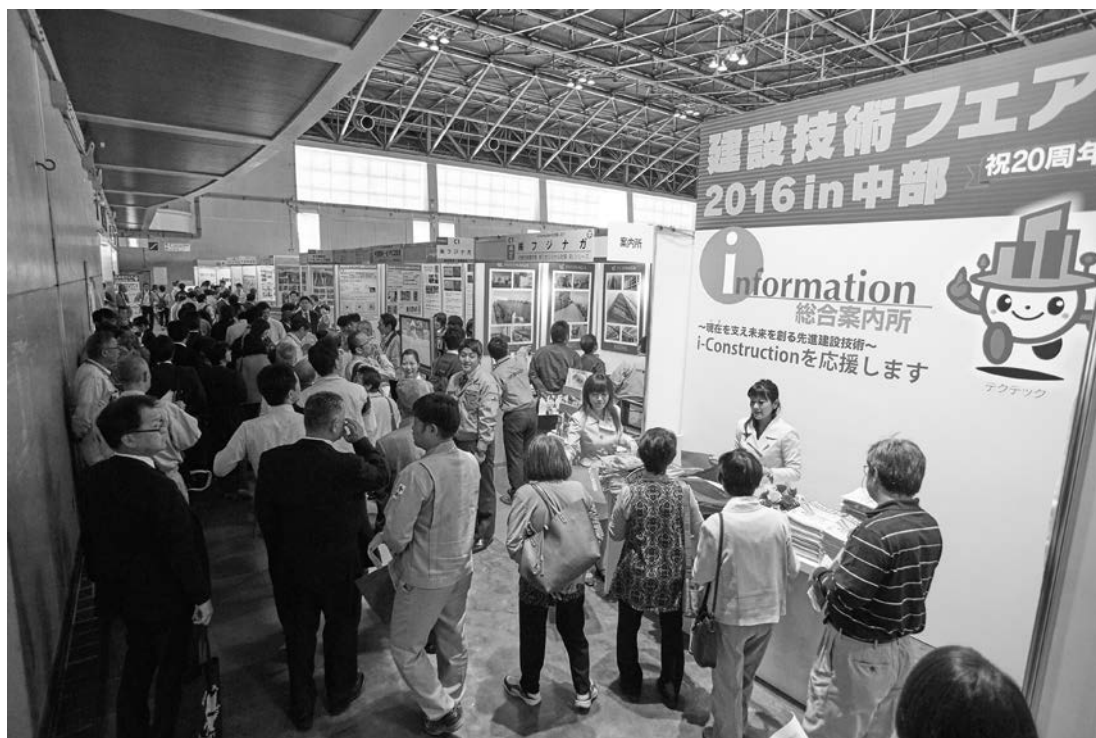


写真-1 来場者で賑わう会場内

## 2. 建設技術フェアin中部とは

建設技術フェアin中部（以下「技術フェア」という）は、名古屋国際見本市委員会と中部地方整備局が主催し、1997年に開催以降今回で20回目を迎えました。

技術フェアは「豊かで安全な暮らしと環境の調和をめざして」をコンセプトとし、産・官・学の技術情報交流の場を提供し、技術開発や新技術の導入を図るとともに、建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と今後の方向性を伝え、また、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々へ紹介することを目的としています。

## 3. 開催概要

今回の技術フェアでは、「ロボット技術」、「防災・災害対策」、「維持管理・長寿命化」、「環境・リサイクル」、「設計・施工」の各分野から昨年度を上回る245の技術が展示されました。

また、技術展示以外にも立命館大学理工学部教授の建山和由氏、（一社）日本建設業連合会（以下「日建連」という）／土木本部プレキャスト推進検討プロジェクトチーム・ワーキンググループリーダーの河野重行氏を講師としてお招きした「講演会」、大学・高専・高校等から学生が集まり、先輩技術者との交流を図る「学生交流ひろば」、学生や学校関係者に対して業界・行政団体が生の声をプレゼンする「学生のための建設技術フェア業界研究会」、災害対策車両・維持管理用車両の展示や地震体験ができる「体験・展示コーナー」、出展者による技術説明を行う「出展技術プレゼンテーション」等々、多くの企画が催され会場は活気にあふれていました。

## 4. 開催の様子

### (1) 開会式

開会式は、大会初日の9時30分より、日建連中

部支部長、農林水産省東海農政局長、名古屋大学副総長、名古屋工業大学学長、名古屋市立大学学長を来賓にお迎えし、150名を超えるの方々にご臨席を賜り、執り行われました。

塚原浩一中部地方整備局長、河村たかし名古屋市長から主催者挨拶、井上和幸日建連中部支部長から来賓挨拶をいただいた後、関係者によりテープカットを行い、2日間にわたる技術フェアがスタートしました。



写真－2 塚原局長の主催者挨拶

### (2) 技術展示

技術フェア会場では、実物や模型等による技術展示、技術者による実演展示等が行われるだけでなく、来場者による現場からの要望や改良点のアドバイス等、意見交換も積極的に行われており、当技術フェアの目的の一つである「技術交換の場」となっていました。また、来場した学生らは授業では習わない最新の技術等を実際に目で見て、体験し、技術者からの説明により理解を深めていました。



写真－3 技術展示

(3) 20周年記念講演会 ～建設現場の生産性向上  
i-Construction～

10月20日には、立命館大学の建山先生、日建連の河野様を講師にお招きし、ご講演をいただきました。

建山先生からは、「建設技術の新たなステージ i-Construction」と題して、情報化施工、建設ロボット、CIMの具体的な事例や、i-Constructionの目指す方向性についてご講演をいただきました。

河野様のご講演は、「i-Constructionの流れを受けた生産性向上活動について」と題し、国が主導している i-Constructionに対する日建連の取り組み状況を、プレキャスト推進検討プロジェクトチームの活動を事例として報告をいただきました。



写真-4 20周年記念講演会

(4) 主催企画・i-Construction実機実演

今回の技術フェアでは、「ロボット技術」を主催企画としており、i-Constructionで活躍する小型無人飛行機（ドローン）の実演や、世界初のマシンコントロール油圧ショベルの実演を行い、建設の施工現場での利活用を広く情報発信しました。



写真-5 主催企画・ロボット技術の実機実演

(5) 学生交流ひろば

学生交流ひろばは、土木業界において近年深刻な課題となっている、学生の土木離れの原因として考えられる「どのような仕事をしているか分からない」、「授業で学んでいることが職場でどのように役立つのか理解できない」といった不安や疑問を、現場の第一線で活躍する先輩技術者との交流を通じて解消していくことを目的に企画されたものです。2日間を通して大勢の学生が訪れ、各建設業団体や行政機関の先輩方との交流を深めていました。



写真-6 学生交流ひろば

## (6) その他の企画・展示

技術フェアでは他にも「継続出展者感謝状贈呈式」, 「ペーパーブリッジコンテスト」, 「出展

技術プレゼンテーション」, 「災害対策車両, 維持管理車両の体験・展示コーナー」等の企画・展示も行われました。



写真-7 継続出展者感謝状贈呈式



写真-8 ペーパーブリッジコンテスト



写真-9 出展技術プレゼンテーション



写真-10 災害対策車両等の体験・展示コーナー

## 5. おわりに

今回の技術フェアは天候にも恵まれ、過去最高の14,432名の来場者を迎え、また、次世代の建設業を担う学生の来場者も1,700名を超えるなど、大盛況のうちに終了することができました。

建設技術フェア事務局では、今回の開催にあたり過去の開催状況や参加者アンケート結果をもと

に、より良い技術フェアとなるよう都度カイゼン・工夫を重ねてきました。次回の技術フェアは、2017年10月18日(水)、19日(木)に開催を予定し、準備を進めてまいりますので、引き続き、多くの皆様の来場をいただきますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、技術フェアの開催にあたりご尽力をいただきました、出展者・関係者に厚くお礼申し上げます。